

## 【自由記載】

多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(選択肢13「その他」への記載)

公共交通機関状況。 ◆(50～59歳 男性 東部)
家族の健康の状況。 ◆(60～69歳 男性 中部)
安全に暮らせる、感染症のリスクの低さ。 ◆(20～29歳 男性 西部)
病院等を含む社会環境。 ◆(50～59歳 女性 東部)
ショッピングできる場所が充実していることを望んでいます。 ◆(40～49歳 女性 東部)
水が美味しい！ ◆(18～19歳 男性 中部)
文化的環境。 ◆(60～69歳 女性 西部)

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。  
(選択肢8「その他」への記載)

女性に「女性だからしないといけない」という考えをとりのぞくこと。 ◆(40～49歳 男性 東部)
仕事や日々の生活の中で家事、育児、介護をする上で、経験者にしかわからない悩みを話し合える場 (対面またはweb)等の提供とアウトプット。 ◆(50～59歳 女性 西部)
子供の頃からの、家事分担の大切さや性別役割分担の否定などの教育が大切だと思います。 ◆(18～19歳 女性 西部)
「男性が」ではなく「男女ともに」家事・育児・介護に参画できるよう企業(経営者)に向けた働きかけ。 ◆(20～29歳 男性 東部)
若い世代のほうが家庭等への参画の意識が自然と備わっていて実践されている方は多いと思います。 職場等で上司などにあたる上の世代の方々への意識啓発も大切ではないかと思えます。 ◆(30～39歳 女性 東部)
男性の産休育休取得率の高い事業所への補助金など。 ◆(50～59歳 女性 中部)
ライフワークバランス、リモートでスポットで働ける環境支援。空き時間にリモートで働ける環境があれば家計的にもたすかり、職場復帰時の心的ストレスなどの削減になる。 ◆(30～39歳 男性 西部)

問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いませんか。

(選択肢 10「その他」への記載)

女性の積極的に活躍できる場の提供。 ◆(60～69歳 男性 西部)
県の審議会や委員会参加者や民間との協議会などで参加依頼する際、「男女各一名」等と女性参加を基本にする。と同時に女性の育成や女性限定の講習会も行いフォローする。 ◆(50～59歳 男性 西部)

問 11 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。(選択肢 7「その他」への記載)

バードハットの幟は毎日通るので自然と目に入ってきました。 ◆(50～59歳 女性 東部)
町の広報誌。 ◆(60～69歳 男性 西部)
子供の通っている園。 ◆(30～39歳 女性 西部)
研修会参加時に学習。 ◆(60～69歳 女性 中部)
ラジオ。 ◆(30～39歳 男性 西部)
ボーイスカウトの活動で関わった。 ◆(18～19歳 男性 東部)
数年前に行ったイベント。 ◆(30～39歳 女性 東部)
子供が学校から聞いてきて教えてくれた。 ◆(40～49歳 女性 中部)

自由記載欄 (「ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください」への記載)

人口規模が小さいことを逆手にとって、各個人にあわせたサポートを受ける、あるいはサポートを提供してもらい仕組みを構築し、他県の方が羨むような鳥取県モデルを作っていただきたい。あと小中高生が将来の高度情報化社会を生きていくために 都会と同等以上の知識と実践を積める機会を用意していただきたい。 ◆(40～49歳 男性 東部)
県庁所在地が鳥取東部にあるからと言って、全ての事が東部で行われたり、施設が東部に集中しないよう分散化させて欲しいです。東部から西部に移動するにも時間がかかります。準備等大変だとは思いますが、ご検討をお願いします。 ◆(50～59歳 女性 西部)
鳥取県では、いろいろな分野において様々な取り組みがなされている。又は、なされようとしていることが、よく分かったが、詳しく知らないものも多く、もっと 情報収集する必要があると個人的に感じるとともに、県によるわかりやすい情報発信も必要だと感じました。 ◆(60～69歳 女性 東部)
ウィズコロナにおいて、人流の抑制を目的としていたこれまでのテレワーク(在宅勤務等)から、生産性を上げるテレワークを進めるために、さらに県、市町村が連携し、また率先して実施していただき、民間企業に落とし込んでいってほしい。 ◆(30～39歳 男性 東部)

<p>コロナ渦で浮き彫りになったテレワークにはなじめない、エッセンシャルワーカーが多数いるという事にもっと目を向けるべきではないか、物を生産し、人力でサービスを提供する業種では、テレワークは不可能なケースが圧倒的である。自身の周囲にそういう人達が多数存在する事を忘れていませんか？</p> <p>◆(70歳以上 男性 西部)</p>
<p>小さい子供が3人います。鳥取で生まれ育ち、一度県外に出ましたが、子育てをしてから鳥取に戻ってよかったですと本当に思うようになりました。妊娠中の助成や出産費用の安さ、子育て支援や子どもの遊べる環境の多さがとてもありがたいです。もっと子育て支援のことをアピールしても良いのではないのでしょうか。県外に出た友人たちは鳥取に戻りたいと話しますが、職がないと言うので、リモートも活用しながら就職支援ももっと情報としてあると良いと思います。</p> <p>◆(30～39歳 女性 東部)</p>
<p>賃金の低さ、交通の便の悪さの改善が業務だと思います。車が必要な生活やほとんどの子供が大学進学する状況の今は都会で生活していれば必要ないお金が鳥取ではかかるので、昔のように田舎は生活費が安いとは言えないと思います。これでは他県に出た子が戻ってこないのもある意味当然だとも感じてしまいます。</p> <p>◆(50～59歳 女性 東部)</p>
<p>人口も少なく、山間部も多くを占めており、それほどの魅力もないかもしれないが、高速情報通信網の整備等ITの普及促進(企業・各家庭等への援助等)、高齢者・障害者等に優しく暮らしやすい街づくり(施設等への積極的な人材確保・ICT化促進等の援助、各家庭に対する更なる負担軽減策等、公共交通機関の充実など)、左記の事業を県内企業に担ってもらい、県が強力に推進していけば、県内の産業も潤い、高齢者も支える側双方も恩恵があり、暮らしやすく感じるのではないのでしょうか。メディア等を通じた目立つようなキャッチフレーズの宣伝ではなく、地味でもそこに暮らす県民が満足を共感できるような施策を行ってほしいです。</p> <p>◆(40～49歳 男性 西部)</p>
<p>スマホやインターネット(PC)が自由にあやつれる人は、多くないと思う。くわしい事はホームページで、、、とよく聞くが若い人ならともかく、出来ない人の事も考えてもらいたい。</p> <p>◆(70歳以上 女性 西部)</p>
<p>障がい者、老人の介護にもっと力を入れてほしい。受け入れ施設が少ないので利用出来ない人がいる。自宅介護には限界がある。</p> <p>◆(20～29歳 男性 西部)</p>
<p>子育てをする上でもう少し無料で遊ばせられる場所があったら助かります。男性トイレにもおむつ替えスペースを作ってください(多目的トイレに子ども椅子も)。</p> <p>◆(30～39歳 西部)</p>
<p>公共交通機関をなんとかしてください。中学生の子どもをほぼ毎日車で勤務前に送迎する毎日です。学校のバスでもいいです。高齢の祖父母も免許返納できず負のスパイラルです。</p> <p>◆(40～49歳 女性 東部)</p>
<p>IOT の積極的活用及び若い世代への教育・支援に力を是非注いで頂きたいです。</p> <p>◆(20～29歳 男性 東部)</p>
<p>ちっちゃい子や若い人が遊べる室内施設が欲しいです。アウトレットみたいなどこだったり複合レジャー施設だったり市町村から出なくても楽しめる施設が欲しいと思います。</p> <p>◆(18～19歳 女性 西部)</p>
<p>自然災害がこれからもっと増加することが予想されている。防災を目的に地域で共助の体制を強化できるよう、住んでいる地域の特徴(地形、高齢者が多い等住民の傾向、災害別の起こりうる特徴等)を踏まえた防災の出前研修を開いて欲しい。</p> <p>◆(60～69歳 女性 東部)</p>

<p>若者が楽しめる場所、働き口をもっと増やしてほしい。企業の誘致。</p> <p>◆(40～49歳 男性 中部)</p>
<p>女性として生きていく中で就職先の少なさ、給料の違いを感じる人が多いです。</p> <p>◆(30～39歳 女性 中部)</p>
<p>東京に上京して半年がたち、改めて地元に戻ると何もかもが温かく感じる。鳥取には何もないとよく言われるが自然もあり、最低限の暮らしは出来る。そんな鳥取らしさを活かした政策も行ってください。応援します。学力向上の為学生にはお金を使ってあげてください。</p> <p>◆(18～19歳 男性 中部)</p>
<p>県民が少ないから、色んな政策が、スピーディーに、進める県民だと、期待が高いです、行政、県民一体となり、頑張りましょう、素敵な鳥取県。</p> <p>◆(60～69歳 男性 中部)</p>